

早稲田大学 教育学部 地理 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅰ	A S E A N加盟国	A国はインドネシア、B国はベトナム、C国はマレーシア、D国はミャンマー、E国はラオスの国々である。全体に東南アジアの地誌を学習していれば難なく解答できる問題である。②のロヒンギャ難民は最近の時事問題を理解していれば解ける問題である。また問7のガイアナ・スリナムの宗主国は難であるが、ルワンダがベルギー領であることを理解していれば解答できる。	標準
Ⅱ	アメリカ合衆国の州	アメリカの州別問題は早稲田大学ではよく出題される問題である。A州はペンシルヴェニア、B州はネブラスカ、C州はカリフォルニア、D州はフロリダである。問3のアメリカ独立宣言の制定都市フィラデルフィアや問5・問6の統計資料はやや難しかったが、他は平易な問題である。	やや難
Ⅲ	プランテーション作物	Aは茶、Bはコーヒー、Cはゴムノキ、Dは綿、Eはアブラヤシである。最新の農産物生産上位国を理解していれば難なく解答できる平易な問題である。	易
Ⅳ	ヨーロッパ	ヨーロッパの民族・宗教・交通・余暇時間に関する出題である。基本問題が多いが、B:ハンガリーのマジャール人はウラル語族、②のポーランドの約90%はカトリックなどの知識があれば高得点につながる。	標準

〔総合コメント〕

例年通り地誌中心である。世界の国々の特徴を理解していれば容易である。今後の対策として国々の位置関係、主要都市名とその特徴、農業・鉱業など産業・貿易品目など、様々な角度から出題されるので体系的によくまとめておくことが必要である。その際、最新統計資料や地図帳を活用すること。